

令和2年度 吉岡町社会福祉協議会 事業報告書
(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

I. 社会福祉事業 i. 地域福祉事業拠点区分

1. 法人運営事業サービス区分

1.) 会員加入状況

年 度	世帯数	一般会員 世帯数	一般会員 納入金額	納入割合
平成30年度	7,809	5,907	5,907,000円	75.6%
令和元年度	7,967	6,006	6,006,000円	75.4%
令和2年度	8,142	6,103	6,103,000円	75.0%

年 度	賛助会員数	賛助会費	特別会員	特別会費	団体会員	団体会費
平成30年度	43人	220,000円	25法人	130,000円	2団体	60,000円
令和元年度	37人	185,000円	26法人	155,000円	2団体	60,000円
令和2年度	36人	185,000円	25法人	125,000円	2団体	60,000円

2.) 役員会・評議員会開催状況

役員会

開催年月日	出席数	定数	議 題
2. 5. 29	9	9	議案第1号 令和元年度吉岡町社会福祉協議会歳入歳出補正予算(決算月)について 議案第2号 令和元年度吉岡町社会福祉協議会事業報告について 議案第3号 令和元年度吉岡町社会福祉協議会歳入歳出決算について 議案第4号 吉岡町社会福祉協議会苦情対策要綱の一部改正について 議案第5号 吉岡町社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦について 議案第6号 吉岡町社会福祉協議会評議員会の招集日程について 議案第7号 吉岡町社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選任について 議案第8号 吉岡町社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の招集日程について 議案第9号 吉岡町社会福祉協議会苦情対応第三者委員の選任について
2. 6. 26	10	10	議案第1号 吉岡町社会福祉協議会常務理事の選定について
2. 9. 15	8	10	議案第1号 令和2年度吉岡町社会福祉協議会歳入歳出補正予算(第1号)について 議案第2号 吉岡町社会福祉協議会定款の変更について 議案第3号 吉岡町社会福祉協議会事務処理規程の一部改正について 議案第4号 吉岡町社会福祉協議会経理規程の一部改正について 議案第5号 令和2年度吉岡町社会福祉協議会歳入歳出補正予算(第2号)について 議案第6号 吉岡町社会福祉協議会評議員選任・解任委員会運営細則の一部改正について 議案第7号 吉岡町社会福祉協議会評議員会の招集日程について

2. 11. 24	10	10	議案第1号	吉岡町社会福祉協議会事務職員の給与規程の一部改正について
2. 12. 11	10	10	議案第1号	令和2年度吉岡町社会福祉協議会歳入歳出補正予算(第3号)について
			議案第2号	吉岡町社会福祉協議会評議員会の招集日程について
3. 2. 26	9	10	議案第1号	吉岡町社会福祉協議会経理規程の一部改正について
			議案第2号	吉岡町社会福祉協議会認知症高齢者等福祉サービス利用支援事業利用料助成に関する要綱の一部改正について
			議案第3号	令和2年度吉岡町社会福祉協議会歳入歳出補正予算(第4号)について
			議案第4号	令和3年度吉岡町社会福祉協議会事業計画(案)について
			議案第5号	令和3年度吉岡町社会福祉協議会歳入歳出予算(案)について
			議案第6号	吉岡町社会福祉協議会評議員会の招集日程について

評議員会

開催年月日	出席数	定数	議 題	
2. 6. 25	20	20	議案第1号	令和元年度吉岡町社会福祉協議会歳入歳出補正予算(決算月)について
			議案第2号	令和元年度吉岡町社会福祉協議会事業報告について
			議案第3号	令和元年度吉岡町社会福祉協議会歳入歳出決算について
			議案第4号	吉岡町社会福祉協議会役員の選任について
2. 9. 24	18	20	議案第1号	令和2年度吉岡町社会福祉協議会歳入歳出補正予算(第1号)について
			議案第2号	吉岡町社会福祉協議会定款の変更について
			議案第3号	令和2年度吉岡町社会福祉協議会歳入歳出補正予算(第2号)について
2. 12. 17	19	20	議案第1号	令和2年度吉岡町社会福祉協議会歳入歳出補正予算(第3号)について
2. 3. 18	19	20	議案第1号	令和2年度吉岡町社会福祉協議会歳入歳出補正予算(第4号)について
			議案第2号	令和3年度吉岡町社会福祉協議会事業計画(案)について
			議案第3号	令和3年度吉岡町社会福祉協議会歳入歳出予算(案)について
			議案第4号	吉岡町社会福祉協議会役員の選任について

2. 地域福祉事業サービス区分

1.) 福祉ネットワーク推進事業

(1) 事業概要

超高齢社会、核家族が進む中、高齢者及び障がい者等援護を必要とする者への地域ぐるみの援護システム作りを目的とし、各自治会単位で交流事業や見守り活動を実施した。

(2) 事業結果

①助成金

吉岡町13自治会に対し令和2年度活動助成金支出

	元年度	2年度
会費収入	1,393,128円	1,398,820円
町補助金収入	520,000円	520,000円
事業費	1,913,128円	1,918,820円

②見守り体制づくり援助

- ア)実施日：令和2年9月24日(木) 吉岡町社会福祉協議会評議員会終了後
会場：老人福祉センター
内容：吉岡町13自治会長に対し、改めて事業説明を実施。
見守り安否確認表を作成し、一例として示しながら、地域における見守り体制づくりの重要性を伝えた。
 - イ)実施日：令和2年9月27日(日)
会場：大久保寺上自治会役員会議
内容：事業説明。例を示しながら地域における見守りの重要性を伝えた。
 - ウ)実施日：令和2年11月7日(土)
会場：駒寄自治会役員会議
内容：事業説明。例を示しながら地域における見守りの重要性を伝えた。
 - エ)実施日：令和2年11月14日(土)
会場：南下自治会役員会議
内容：事業説明。例を示しながら地域における見守りの重要性を伝えた。
 - オ)実施日：令和2年12月5日(土)
会場：上野田自治会役員会議
内容：事業説明。例を示しながら地域における見守りの重要性を伝えた。
- ※その他随時対応（見守り活動の進め方の相談等）：小倉自治会・上野原自治会

③コロナ感染対策物品購入支援

コロナ禍により、福祉ネットワーク事業として実施していた高齢者慰安会や世代間交流会等の集いの場実施困難にあたり、見守りを目的としたコロナ対策用品の配布を認め、一部物品の手配の支援を行った。

2.)吉岡町地域福祉活動計画策定

(1) 事業概要

第2期地域福祉計画及び活動計画策定のため、行政と協同し、ふれあい・いきいきサロンや団体へのヒアリング調査、地域住民の声を反映し、誰もが住み慣れた地域で安心・安全に暮らし続けられることを目指し計画を策定した。

(2) 事業結果

・調査 8月実施

		配布数	回収数(率)	
自治会役員	自治会長(13)・地区代表(71)・隣組長(722)	806票	571票	70.8%
活動団体	ボラ(11)・サロン(32)・老人クラブ(9)	52団体	51票	98.1%
福祉事業所等	介護関係(60)・障害関係(22)・児童関係(8)	90事業所	65票	72.2%

・検討委員会

実施回数 4回（うち2回は新型コロナウイルス感染防止のため書面開催）

参加延人数 検討委員 12人 事務局 3名（町・社協）

・パブリックコメント 令和3年1月5日～1月25日

	2年度
会費収入	20,156円
共同募金配分金収入	330,000円
事業費	350,156円

3.)社会を明るくする大会

(1) 事業概要

社会を明るくする運動の一環として、青少年問題の現状と課題を明らかにして、青少年健全育成の推進に、町更生保護女性会及び保護司会と協力して実施した。

(2) 事業結果（コロナ禍の影響により、規模を縮小して実施した。）

・実施日 伝達式：令和2年7月1日、のぼり旗設置：6月30日

・会場 役場及び町内

・内容 ア. 町長へ法務省提唱のメッセージ伝達

イ. のぼり旗の設置による啓発活動

・参加人数 4人

	元年度	2年度
会費収入	59,421円	0円
事業費	59,421円	0円

4.) 障がい児・者交流事業

(1) 事業概要

町内在住、在勤で身体・知的・精神障がい児・者とその家族を対象に、交流を図り、仲間づくりの場となることを目的に実施した。

(2) 事業結果 (コロナ禍により中止)

	元年度	2年度
会費収入	25,865円	0円
事業費	25,865円	0円

5.) ボランティア育成活動推進事業

(1) 事業概要

住民の福祉の向上を目指し、ボランティア活動の充実と地域社会の福祉を推進するために、ボランティアの育成・活性化の推進、そして、団体の活動が一層主体性を活かせるように協力した。また、地域のために活躍されているボランティアやこれからボランティアを始めたいという方々のボランティア意識の高揚を図り、ほっとひといき気軽に集まれる場を設け、情報交換を行える「ハートボラカフェ」を実施した。

(2) 事業結果

① ボランティア活動保険助成事業

・保険加入者数 185人 (前年度:192人) (1人当たり保険料 350円)

② ボランティアポイント制度

・制度利用者数 185人 (前年度:195人)

・表彰者数 43人 (前年度:45人)

③ ボランティア交流会

・実施日 令和3年4月23日(金)

・会場 吉岡町老人福祉センター

・参加人数 16人

・内容 ア 表彰式
イ 交流会

	元年度	2年度
町補助金収入	349,542円	370,778円
手数料収入	18,500円	17,500円
事業費	368,042円	388,278円

【感想・反省】

ハートボラカフェ等を活用しながら、楽しいボランティア養成講座やボランティア講習会を行い、ボランティア意識の高揚を図り、さらに新規ボランティアの担い手確保を目指したい。

6.) シルバーカー購入費補助金交付事業

(1) 事業概要

高齢者の歩行の補助としてシルバーカーを購入した場合、購入費の一部を補助し、費用負担の軽減と日常生活の利便を図ることを目的に実施した。

(2) 事業結果

・交付決定者 5人 (前年度実績:7人)

	元年度	2年度
会費収入	34,900円	25,000円
事業費	34,900円	25,000円

7.) 高齢者交通安全活動推進事業

(1) 事業概要

高齢者の交通事故防止や振り込め詐欺、悪質商法被害等から高齢者を守ることを目的とした講話を実施した。

(2) 事業結果

・実施日 令和2年11月2日(月)

・会場 吉岡町老人福祉センター

・参加人数 51人

・内容 映像を用いて実際の特殊詐欺の手口などを説明

	元年度	2年度
会費収入	5,708円	6,400円
事業費	5,708円	6,400円

8.) 老人福祉センター開放事業

(1) 事業概要

老人福祉センターを開放し、この施設や社協の業務内容のPRを図りながら、地域住民が気軽に参加できる事業を行うことにより、コミュニケーションが図られ、より良い吉岡町を創造して行くことを目的に実施した。

(2) 事業結果 (コロナ禍により中止)

	元年度	2年度
会費収入	20,000円	0円
事業費	20,000円	0円

9.) 福祉バザー

(1) 事業概要

より多くの住民が集い、地域のつながりをもって交流できるよう家庭で眠っている物品を必要な物と安く交換できる福祉バザーを隔年で実施している。また、収益金においては地域に還元し、社会福祉協議会を多くの住民に理解していただけるようPRの場としての機能も果たしている。

(令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため未実施)

10.) 職員出前講座

(1) 事業概要

地域のふれあい・いきいきサロン会場や介護予防事業会場において、福祉や介護予防について理解を深め地域住民の生活に役立ててもらうことを目的に、職員の持っている知識や特技を生かした講座を行った。

(2) 事業結果

- ・実施会場 9会場 (前年度実績：15会場)
- ・参加延人数 104人 (前年度実績：212人)

11.) 認知症カフェ事業

(1) 事業概要

認知症の方やその家族、地域住民誰もが気軽に集い、楽しいひと時を過ごせるよう地域のボランティアの協力による「元気になるカフェ」を実施した。また、ボランティア(ささえ隊・もてなし隊)を対象とした意見交換のための会議を実施し、カフェの充実を図った。さらに、認知症の方と家族が医療介護従事者や介護経験者と一緒にゆっくり過ごし、不安や心配事を語り合い理解し合える居場所「22カフェ」を実施した。

(2) 事業結果 ※()は前年度実績

① デイサービス JAげんき喫茶室

- ・実施回数 28回 (45回) 毎週木曜日 午前10時から12時まで開設
- ・参加延人数 299人 (797人)
- ・ボランティア延人数 97人 (197人)

② よしおか ROBAROBA (地域福祉交流施設)

- ・実施回数 28回 (45回) 毎週木曜日 午前10時から12時まで開設
- ・参加延人数 466人 (1,089人)
- ・ボランティア延人数 116人 (195人)

③ 22カフェ

- ・実施回数 6回 (11回) 毎月22日 月1回 午後1時から3時まで開設
- ・実施場所 よしおかROBAROBA
- ・参加延人数 28人 (39人)
- ・協力者延人数 5人 (13人)

※①、②、③は新型コロナウイルス感染拡大防止のため4/1～6/30、12/24～2/28は中止

④ 元気になるカフェボランティア会議

- ・実施日 令和2年6月29日
- ・実施場所 いこいの家八幡大広間
- ・参加人数 31人

⑤ 夏休み！元気になるカフェ お手伝い体験企画 (小学5年生～中学3年生)

- ・実施回数 0回 (コロナ禍により開催中止)
- ・参加延人数 0人

【感想・反省】

元気になるカフェでは、コロナ禍でカフェのイベントやボランティアお手伝い体験、ボランティア講演会等の実施ができなかった。また、コロナ予防対策をしながらの実施の中で人数制限や声掛け、ボランティア体制等に課題を感じた。カフェを継続するにあたり、ボランティアの育成や体制の見直し、リモートカフェの検討、さらにはそれぞれの地域でもっと身近でカフェが実施できるような事業を考えて行く必要があると感じた。

22カフェでは、介護者が自分の経験を話すことで気持ちの共有や対応方法を学ぶ機会の場となっている。今後はさらに周知に力を入れるとともに他専門職との連携も考えていきたい。

	元年度	2年度
積立資産取崩収入	221,388円	164,227円
事業費	221,388円	164,227円

12.) 移送サービス事業

(1) 事業概要

ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯等の方で、通院や買い物等への交通手段がない方を対象に、積極的に外出する機会を確保し、閉じこもり等にならないように介護予防を行い、在宅生活の継続を目的に移送サービスを実施した。

(2) 事業結果

年度	登録人数	利用人数	利用延回数	利用券販売額
令和元年度	33人	20人	290回	75,600円
令和2年度	30人	22人	358回	9,000円

【感想・反省】

ボランティア不足のため、ボランティアの日程が合わないと職員で対応することが幾度とあり、新規ボランティアの担い手の確保が課題となっている。今後は新規のボランティアの担い手にも力を入れ、ホームページや社協だより等の広報及び直接のアプローチを通してボランティアの担い手確保に向けて努めていきたい。

	元年度	2年度
前期末支払資金残高	5,000円	700円
移送サービス事業収入	87,000円	107,400円
事業費	92,000円	104,000円

うち町高齢者弱者対策助成事業(コロナ関連)99,900円 (R2.5.11~)

13.) 福祉車両貸出事業

(1) 事業概要

高齢又は障がい等により歩行が困難な方で車椅子を必要とする方に、リフト付自動車を貸出した。通院や買い物など日常生活の利便性を図ると共に、行事やレクリエーション等に積極的に参加する機会を確保した。

(2) 事業結果

- ・貸出件数 45件 (前年度実績: 49件)
- ・走行距離 1,528km

	元年度	2年度
福祉車両貸出事業収入	12,250円	15,280円
事業費	12,250円	15,280円

【感想・反省】

○利用人数は9名で、うち3名が新規の利用であった。利用目的は施設や通院の送迎のため利用される方がほとんどで、単発の利用の方が数名、定期的に利用されている方が多かった。
○家族のお出かけ等で予約もあったがコロナ禍の影響でキャンセルするケースも数件あった。
○貸出件数は前年度より4件少ない程度であったが事業収入は3,030円の増であった。県外への利用はなかったが、移動先までの距離が長い方や往復回数が多かった等で走行距離が増えたと思われる。

14.) 福祉機器及び器具備品等貸出事業

(1) 事業概要

福祉機器は、高齢者や身体に障がいのある方及び傷病のため自宅にて療養中の方へ貸出し、器具備品は、自治会及び自治会に属する団体や福祉団体又は地域活動やボランティア活動を目的とするグループへ貸出しを行った。

(2) 事業結果

- ・福祉機器 15件 (前年度実績: 18件)
- ・器具備品等 7件 (前年度実績: 16件)

	元年度	2年度
会費収入	0円	0円
事業費	0円	0円

15.) 日常生活自立支援事業

(1) 事業概要

認知症高齢者や知的障がい及び精神障がい等により、判断能力が不十分な方が地域において、自立した生活が送れるよう、福祉サービスの利用の支援、日常的な金銭管理及び書類などのお預かりサービスを行った。

(2) 事業結果

- ・実利用者数 9人 (前年度: 12人)
- ・利用料助成対象者 6人 (前年度: 8人)

	元年度	2年度
町補助金収入	15,500円	9,625円
事業費	15,500円	9,625円

16.)生活福祉資金貸付事業

(1) 事業概要

県社会福祉協議会が行う貸付事業の申込窓口として、低所得世帯、障がい者世帯及び高齢者世帯からの申込相談に対応した。相談者の経済的自立や生活意欲の助長促進、在宅福祉や社会参加を図り、その世帯の安定した生活を確保することを目的とした。また、新型コロナウイルス感染症の発生による休業や失業等により、一時的又は継続的に収入が減少した世帯を対象とした緊急小口資金等の特例貸付の相談・申請窓口として対応した。

(2) 事業結果

- ・相談延件数（電話問合せ含む） 227件
- ・貸付件数（令和3年3月31日現在）

総合支援資金	2	世帯
福祉資金	1	世帯
緊急小口資金	4	世帯
教育支援資金	5	世帯

<特例貸付>

緊急小口資金特別貸付	104件
総合支援資金特別貸付	49件
総合支援資金特別貸付（延長）	16件

【経過・感想】

- ・R2.3月末より特例貸付が開始され、コロナの影響により減収した世帯の問合せ、相談が急増した。
- ・緊急小口資金特例貸付を申請した方の半数近くが継続的な減収、困窮状態により、総合支援資金特例貸付の申請を行った。
- ・コロナ禍の影響で、今後も減収世帯、困窮世帯の相談が増えることが予想される。生活困窮者自立相談支援事業と連携して対応をしていく必要があると思われる。

	元年度	2年度
県協受託金収入	143,500円	982,000円
会費収入	500円	0円
事業費	144,000円	801,038円

3. 共同募金配分金事業サービス区分

1.)一般募金事業（一般募金配分事業）

①新入学児童置き傘贈呈事業

(1) 事業概要

新入学児童に置き傘を贈呈した。

(2) 事業結果

新入学児童

	令和元年度	令和2年度
明治小学校	111本（内6本予備）	117本（内5本予備）
駒寄小学校	119本（内6本予備）	159本（内5本予備）

	元年度	2年度
共同募金配分金収入	247,940円	290,400円
事業費	247,940円	290,400円

2.)歳末たすけあい募金配分金事業（地域福祉関連）

①ふれあい・いきいきサロン推進事業

(1) 事業概要

地域の中で孤独・閉じこもりがちな高齢者、子育て中の親子、障がい者や弱者などをつくらないという地域福祉の充実を図るため、福祉ネットワークが主体となり住民が中心となって小地域を単位としたふれあいの場を設け、自主的・自発的に行う交流事業に活動費の助成、外出支援や交流会を行った。令和2年度は、コロナ禍により外出支援、サロン活動共に各地区で自粛されていた。

(2) 事業結果

①運営・整備補助金交付

令和3年3月末現在

- ・高齢者サロン 30会場
- ・子育てサロン 1会場
- ・共生型（複合型）サロン 1会場
- 合計 32会場

②外出支援

- ・実施会場 4会場（前年度：22会場）
- ・参加人数 59人（前年度：322人）

③ふれあいいきいきサロン代表者交流会

- ・実施日 令和3年3月9日(火)
- ・会場 吉岡町老人福祉センター
- ・参加人数 24人(24サロン)
- ・内容 コロナ禍のサロン活動状況について情報交換(交流会)

	元年度	2年度
共同募金配分金収入	774,922円	684,336円
事業費	774,922円	684,336円

②配食サービス事業

(1)事業概要

ひとり暮らし高齢者や障がい者に対し、月曜日から金曜日まで(週5回)食事サービスを実施することにより、食生活の安定と健康保持に寄与し、更に対象者の安否確認と地域社会との交流を深めることを目的に実施した。

(2)利用対象者

概ね65歳以上のひとり暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯等で、安否確認が必要で調理が困難な者とする。

(3)事業結果 (週5回実施)

年度	利用者数	実施日数	延べ食数	利用券販売額
平成30年度	39人	244日	4,608食	1,290,000円
令和元年度	49人	240日	4,663食	1,434,900円
令和2年度	52人	243日	5,671食	209,400円

コロナの影響によりR3年1月26日～3月31日まで火・水・金のボランティア調理中止。その間は角藤のお弁当で対応した。

	元年度	2年度
共同募金配分金収入	526,602円	733,274円
負担金収入	1,398,900円	1,701,300円
事業費	1,925,502円	2,434,574円

うち町高齢者弱者対策助成事業(コロナ関連)1,535,700円(R2.5.11～)

③歳末時期事業

(1)事業概要

福祉ネットワークの調査から上がってきた、ひとり暮らし高齢者、障がい者、及び高齢者二人世帯を対象とし、年末年始にボランティア協会の協力を得て、地域住民からの声かけと見守りにより、慰労と安否確認を行った。

(2)事業結果

- ・実施日 令和2年12月29日
- ・対象者数 66人(前年度:60人)
- ・内容 年越しセットの配食

	元年度	2年度
共同募金配分金収入	148,788円	160,991円
事業費	148,788円	160,991円

- ・実施日 令和3年1月4日
- ・対象者数 58人(前年度:53人)
- ・内容 非常食セットの配布(新年安否確認)

	元年度	2年度
共同募金配分金収入	95,286円	93,173円
事業費	95,286円	93,173円

④無料法律相談事業

(1)事業概要

昨今の社会情勢に伴い、町民が抱える悩みごと等において、法律に係る解決困難な相談が増加している現状を考慮し、町民の皆様が少しでも不安を解消し、安心して生活できるように弁護士による無料の法律相談所を開設した。

(2)事業結果

- ・開設日 毎月第2木曜日(年12回)
- ・相談時間 午後1時30分～4時の間 1人30分
- ・相談員 群馬弁護士会所属の弁護士
- ・相談件数 39件(前年度:40人)
- ・相談内訳(複数相談有り)

	元年度	2年度
共同募金配分金収入	364,698円	368,390円
事業費	364,698円	368,390円

- ア 家族について 15件
- イ 財産について 13件
- ウ 住宅について 4件
- エ 生計について 2件
- オ 離婚について 3件
- カ 結婚について 2件
- キ その他 3件

合計 42件

⑤情報提供（社協だより発行）

(1) 事業概要

地域住民に広く当協議会事業の周知及び社会福祉に対する啓発を目的に広報を発行した。

(2) 事業結果

- ・発行回数 3回
- ・発行部数 24,890部

	元年度	2年度
共同募金配分金収入	434,432円	473,492円
事業費	434,432円	473,492円

⑥家族介護者交流事業

(1) 事業概要

家庭で介護をしている介護者を対象に、同じ立場である介護者同士が集い、介護の悩みや心配ごとを話し合うことで、リフレッシュを図るための交流会を開催した。

(2) 事業結果

- ・実施回数 1回（令和3年3月23日実施）
- ・会場 老人福祉センター、しずの苺園（高崎市）
- ・参加人数 8人
- ・内容 いちご狩り、交流会

	元年度	2年度
共同募金配分金収入	30,579円	24,820円
負担金収入	6,300円	4,000円
事業費	36,879円	28,820円

⑦学童クラブ図書事業

(1) 事業概要

学童クラブ6か所において、図書の充実を図った。

(2) 事業結果

子ども新聞、本、DVDの購入。

	元年度	2年度
共同募金配分金収入	69,075円	70,655円
事業費	69,075円	70,655円

⑧避難訓練事業

(1) 事業概要

自治会で行われる避難訓練に合わせてボランティア協会の協力の下、炊き出し訓練を実施し、災害発生時に備えると共に防災倉庫内の防災用品の拡充を図り、いざという時に活用できるように、二つ折担架、毛布及び簡易トイレ等を自治会へ寄贈する。

(2) 事業結果（令和2年度は未実施）

※ コロナ禍により自治会からの要望はなかったが、老人福祉センターの防災倉庫内の防災用品の拡充を図った。

	元年度	2年度
共同募金配分金収入	0円	132,209円
事業費	0円	132,209円

4. 受託事業サービス区分

1.) 敬老福祉大会

(1) 事業概要

町内の高齢者を一堂に招待し、慰安激励すると共に、結婚50周年を迎えられたご夫婦を祝福する。また、4人以上の子供を養育し社会に貢献する親を表彰する。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮し式典を中止したが、今年度該当になる90歳到達者・金婚表彰者の希望者に表彰状及び記念品を贈呈した。

(2) 実施期間

令和2年10月1日～11月30日

(3) 受賞者

90歳到達者 41人（配送希望者38人、訪問希望者3人）

金婚表彰者 23組（配送希望者9組、訪問希望者5組、社協にて贈呈9組）

	元年度	2年度
町受託金収入	709,916円	146,139円
事業費	709,916円	146,139円

2.)ひとり暮らし保養事業

(1) 事業概要

ひとり暮らし高齢者を孤独感から解放し、当事者同士の交流を深め、お互い助け合っ地域で生活できるよう支援することを目的とし、交流の場を提供する。

(2) 事業結果

コロナ禍により開催中止

	元年度	2年度
町受託金収入	708,066円	0円
負担金収入	476,000円	0円
事業費	1,184,066円	0円

3.)手話奉仕員養成研修事業（入門課程）

(1) 事業概要

聴覚障がい者の社会参加促進に必要とされる手話を通じて、聴覚障がい者についての基礎知識・生活について学ぶと共に、あいさつや自己紹介程度の会話ができる手話技術を習得した手話奉仕員を養成するため厚生労働省の手話奉仕員養成講座新カリキュラムに基づき講座を開催する。

(2) 事業結果

コロナ禍により開催中止

	元年度	2年度
町受託金収入	292,976円	0円
事業費	292,976円	0円

4.)障がい者のつどい事業

(1) 事業概要

吉岡町に在住する障がいのある方もない方もが、一緒になって音楽を通じて交流を図ることを目的として実施した。

(2) 事業結果（コロナ禍により中止）

・参加人数（前年度実績：527人）

	元年度	2年度
町受託金収入	60,000円	0円
会費収入	141,167円	0円
事業費	201,167円	0円

5.)介護予防・日常生活支援総合事業

①一般介護予防事業

(1) 事業概要

65歳以上の方及びその支援のための活動に係わる方を対象に、介護状態にならないように、また、介護状態になった場合でも、それ以上に悪化させないための介護予防事業を実施した。

(2) 事業結果

①介護予防・普及啓発事業

「社協だより」「社協ホームページ」に事業の開催について掲載した。また、各種福祉団体等にも介護予防事業の普及啓発を行った。

◎老人福祉センターにおける介護予防教室

町内の65歳以上の全ての方を対象とし、専門職種（健康運動指導士）による運動教室を継続的に開催し、日常生活の安定と健康維持、高齢者同士の交流活動を目的に実施した。

※コロナ禍を考慮し、密を避けるため、人数制限を設けたり、2部制にしたり、感染対策を行った。

	はつらつ体操	げんきアップ体操	ずーと食べ体操
実施回数	19回 (23回)	19回 (23回)	— (35回)
参加延人数	464人 (849人)	247人 (435人)	— (1,040人)

※（ ）は前年度実績

◎町民対象とした介護予防事業

体力測定会

・実施日 令和2年10月5日（月） ・会場 老人福祉センター
 ・参加人数 24人 ・内容 身長、体重、握力外4項目

介護予防教室

・実施日 令和2年10月21日（水）、令和2年10月28日（水）
 令和2年11月4日（水）、令和2年11月11日（水）
 令和2年11月18日（水）、令和2年11月25日（水）
 ・会場 老人福祉センター ・参加人数 各10人前後
 ・内容 栄養・運動、オーラルフレイル予防・認知症予防

②地域介護予防活動支援事業

◎地域筋力トレーニング（※鬼石モデル筋力トレーニング実施）

町内 15か所

◎社協職員による介護予防 出前講座

- ・実施回数 7回
- ・参加延人数 89人

	元年度	2年度
町受託金収入	307,842円	212,971円
事業費	307,842円	212,971円

6.) 地域支援事業・包括的支援・任意事業

①生活支援体制整備事業

(1) 事業概要

総合事業を行うため、高齢者の生活支援サービスを担う事業主体と連携をしながら、支援体制の充実、強化を図ると共に、地域における支え合いの体制づくりを推進することを目的とし、事業を実施した。

(2) 事業結果

◎地域資源把握

生活支援コーディネーターと社協職員による地域の社会資源の現状把握を実施。

地域福祉計画・地域福祉活動計画策定に伴う、地域の意見（困りごと等）の把握調査の実施。

（吉岡町のボランティア団体・サロン・老人クラブ等）町内のボランティア団体・筋トレ・サロン会場（50団体）に出向き、現在の活動状況を確認。また、参加者に生活課題や地域内の困りごと等を聞き取り調査する。

◎生活支援コーディネーター情報交換会 6回

◎自立支援型地域ケア個別会議参加 2回

	元年度	2年度
町受託金収入	772,799円	830,029円
事業費	772,799円	830,029円

②認知症サポーター養成講座

(1) 事業概要

地域住民や企業、小学校4年生等を対象に、講座・啓発を通して認知症についての正しい知識を学び、地域で認知症の人を見守ることで、認知症の人やその家族が地域で安心して暮らしていける地域づくりを目指すことを目的に講座を実施した。

(2) 事業結果

・養成講座

実施回数 2回（前年度：3回） 参加延人数 156人（前年度：308人）

・ステッカー配布 個人 9人 企業 0社

【感想・反省】

コロナ禍で小学校や中学校を対象とした養成講座の実施が難しくなっている。今後は様々な対象者に対応できるよう、リモートや映像による養成講座も考えて行く必要があると感じた。また、認知症にやさしい地域づくりを目指す中で、認知症サポーターへのフォローアップを行うとともに、認知症サポーター登録者をもっと増やしていきたいと感じた。

	元年度	2年度
町受託金収入	103,553円	82,790円
事業費	103,553円	82,790円

5. 善意銀行貸付事業サービス区分

(1) 事業概要

低所得世帯の一時的な生活費や医療費等の生活資金の支出困難者に対して、必要な資金の貸付けを行い、低所得世帯の更生と福祉の増進を図ることを目的とし、事業を実施した。

(2) 事業結果

・貸付 0件（前年度実績：0件） 0円

・援護費 行旅人 0件（前年度実績：0件） 0円

6. 退職手当積立金事業サービス区分

(1) 事業概要

全国社会福祉団体職員退職手当基金制度に退職積立金を行う。

(2) 事業結果

・加入職員数 : 12人

・掛金合計 : 40,608,090円（令和3年3月31日現在）

7. 老人福祉センター指定管理事業サービス区分

(1) 事業概要

平成18年4月から町の指定管理を受け、地域の高齢者の健康の増進、教養の向上及び高齢者の外出場所の確保や閉じこもり生活からの解放、高齢者同士の仲間づくり、高齢者の楽しみや生きがいをづくりを目的として、行こういこいの家八幡（自主事業）を実施した。

(2) 事業結果

・年間利用状況

年度	年間利用者数	年間開所日数	一日平均	利用料	備考
平成30年度	18,515人	278日	66.6人	17,800円	年間
	(12,743人)	(246日)	(51.8人)		
令和元年度	18,241人	264日	69.0人	20,800円	年間 (3月15日～休館)
	(12,480人)	(236日)	(52.8人)		
令和2年度	10,950人	265日	41.3人	1,800円	年間 (4月、5月休館)
	(5,442人)	(208日)	(26.1人)		

()内は入浴利用者数

①行こう！いこいの家八幡（自主事業）

高齢者同士の仲間づくり、高齢者の楽しみや生きがいをづくりとなることを目的として講演、教室、趣味の会を実施した。

・お話しの会

実施日時	内容	実施回数	延参加人数
毎月第3木曜日11:00～ (7月から開始)	わらべの会による読み聞かせ	9回	85人

・講演、教室

実施日時	内容	参加人数
7月29日(水) 13:30～14:30	ラジオ体操講習	19人
1月13日(水) 1月27日(水)	自分史づくり	新型コロナウイルス 感染拡大で中止
3月10日(水) 10:00～11:30	パステルアート講座	10人

・趣味の会 14ヶ所

実施日時	内容	実施回数	延参加人数
毎週木曜日 10:00～11:30	つるし飾り作り	15回	70人
10月まで第1金曜日 11月～3月第1・3金曜日 13:30～15:30	編み物	9回	39人
毎月第2・4木曜日 13:30～15:30	かんたん絵画	14回	129人
毎月第1・3火曜日 10:00～11:30	フラダンス	14回	153人
毎月第1・3土曜日 10:00～12:00	踊り	11回	67人
毎月第1水曜日 10:00～11:30	茶道	7回	97人
第2・4水曜日 13:30～	大正琴	4回	23人
毎週金曜日 9:30～10:30	鬼石式筋トレ	36回	209人
毎日 14:00～	ラジオ体操	181回	2,374人

※ 4月1日～6月30日、12月19日～2月22日まで新型コロナウイルス感染拡大により活動休止

	元年度	2年度
前期末支払資金残高	1,635,132円	2,140,892円
町受託金収入	19,119,000円	21,005,000円
利用料等収入	333,466円	875,076円
事業費	18,946,706円	21,871,341円

8. 学童クラブ管理事業サービス区分

1.) 学童クラブ指定管理事業

(1) 事業概要

平成23年4月以降、町から指定管理を受け、学童クラブ6箇所の運営管理を子ども子育て支援新制度を遵守し、放課後児童の健康管理、安全確保、情緒の安定に努め、保護者が安心して預けられる環境整備を行い、家庭と学校との連携を図りつつ保護者の意見が反映されるよう運営に努めた。

(2) 事業結果(令和2年4月～令和3年3月) * ()は前年度実績

明治小学校区

学童クラブ名	4月入所状況		年間開所日数	年間利用児童数	一日平均
	登録児童数	待機児童数			
明治学童クラブ (定員70人) ※1	70人	0人	275日 (288日)	6,505人 (6,796人)	24人 (24人)
			230日 (235日)	6,377人 (6,651人)	28人 (28人)
明治第2学童クラブ (定員15人)	18人	0人	236日 (234日)	3,072人 (3,402人)	13人 (15人)
中央学童クラブ (定員60人) ※1	68人	13人 ※2	233日 (237日)	5,456人 (5,779人)	23人 (24人)
			229日 (226日)	5,023人 (4,798人)	22人 (21人)
合計	156人	13人		26,433人	

駒寄小学校区

学童クラブ名	4月入所状況		年間開所日数	年間利用児童数	一日平均
	登録児童数	待機児童数			
駒寄第1学童クラブ (定員70人) ※1	68人	0人	240日 (253日)	5,966人 (6,251人)	25人 (25人)
			211日 (230日)	5,287人 (6,017人)	25人 (26人)
駒寄第2学童クラブ (定員70人) ※1	69人	0人	212日 (237日)	5,838人 (6,321人)	28人 (27人)
			200日 (228日)	6,222人 (6,809人)	31人 (30人)
駒寄第3学童クラブ (定員80人) ※1	83人	24人 ※3	257日 (251日)	6,290人 (7,002人)	24人 (28人)
			222日 (229日)	5,106人 (6,029人)	23人 (26人)
合計	220人	24人		34,709人	

※1 (支援単位) 「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準」により1支援単位を構成する児童の数(集団の規模)は、概ね40人以下となっているため2班に班別し、上・下段で表記。

注:平成27年度から子ども子育て支援新制度により定員基準が概ね40人となった。それ以前は70人。

※2 待機児童は、5年生8人と6年生5人の13人であった。令和4年度、学童クラブ新設により解消される見込み。

※3 待機児童は、5年生23人と6年生1人の24人であった。令和3年度、駒寄第4学童クラブ開設により解消される見込み。

	元年度	2年度
町受託金収入	17,935,367円	20,562,687円
学童保育料収入	22,984,500円	21,197,000円
事業費	40,919,867円	41,759,687円

2.) 学童クラブ運営補助事業

(1) 事業概要

待機児童対策として令和3年4月に新規に駒寄第4学童クラブ(15人定員)を業務委託にて開設するための準備事業として実施した。

(2) 事業結果

- ・町、委託先と開設に向けた打合せ
- ・指定管理学童クラブの指導員と委託先との打合せ及び見学
- ・開設場所の改修等

	2年度
町補助金収入	1,027,702円
事業費	1,027,702円

9. 群馬県共同募金会・吉岡町支会業務

1.) 一般募金（赤い羽根共同募金） ※（ ）は前年度実績

1月6日から町内全世帯に自治会を通してチラシ等を配布し、募金趣旨の啓発、募金の協力を呼びかけた。（コロナ禍を受け、自治会負担軽減のため、歳末たすけあい募金と同時に実施した。）

・戸別募金	5,968世帯(5,804世帯)	2,387,300円(2,321,600円)	納入率 72.5%(72.1%)
・学校、イベント募金等		79,406円(76,062円)	
合計		2,466,706円(2,397,662円)	納入率 102.9%(100.3%)

2.) 歳末たすけあい募金 ※（ ）は前年度実績

1月6日から町内全世帯(生活保護及び施設入居者は除く)に自治会を通じて募金使途チラシ等を配布し、募金趣旨の啓発と募金の協力を呼びかけた。又、町内法人には高崎法人会吉岡地区会並びに、吉岡町商工会等を通じて募金趣旨を啓発、募金の協力を呼びかけ、更に民生児童委員・社協役職員による訪問を行い募金活動を実施した。（コロナ禍を受け、自治会負担軽減のため、一般募金(赤い羽根募金)と同時に実施した。）

・戸別募金	5,981世帯(5,769世帯)	1,794,500円(1,730,700円)	納入率 72.7%(71.6%)
・法人募金	261法人(263法人)	1,358,514円(1,350,729円)	納入率 100.6%(101.1%)
・団体募金	1団体(1団体)	30,000円(30,000円)	
・個人募金	1人(3人)	10,000円(20,000円)	
・その他		0円(104円)	
合計		3,193,014円(3,131,533円)	納入率 102.0%(95.9%)

3.) 支会運営委員会（H24. 8.17 設立）

(1) 事業概要

県共募の定める諸計画に基づき、町内の地域福祉向上の推進のため、住民の参加を図り民意を十分に反映し共同募金運動を行うことを目的に設置する。

(2) 運営委員会開催状況

開催年月日	議 題
2. 5. 21 (書面決議)	運営委員の選任について 正副会長の選任について 監事の選任について 令和2年度 共同募金地域配分基準及び特別配分の制定について 令和2年度 吉岡町支会共同募金推進計画について
2. 9. 11	令和2年度 共同募金運動実施について
3. 3. 2	令和2年度 共同募金配分申請書の審査について 令和2年度 吉岡町支会共同募金推進計画の変更について

10. 吉岡町民生委員児童委員協議会

平成27年4月、町から事務局が移管された。民生委員児童委員協議会の主な活動状況は以下のとおりだった。

- ・毎月1回 役員会、定例会開催。
- ・子育てサロンよしおか（コロナ禍により休止）
- ・視察研修（コロナ禍により中止）
- ・各種研修会に参加

11. 各種福祉団体支援

団体支援の説明を記載

団 体 名	会員数	支 援 内 容	補助金額
更生保護女性会	87人	総会、社会を明るくする大会、公開ケース等への協力支援（コロナ禍により外出研修等中止あり）	0円
老人クラブ連合会	480人	総会、県・会主催事業（グラウンドゴルフ大会、輪投げ大会）への協力支援（コロナ禍により中止もあり）	184,940円
ボランティア協会	134人	総会、会主催事業（環境美化等）、給食への協力支援、縫製活動の協力	220,000円
母子保護連盟	14人	総会、会主催事業への協力支援	0円
身体障がい者自立更生会	22人	総会(書面)、会主催事業(輪投げ大会、室内グラウンドゴルフ大会、陶芸教室等)への協力支援	0円
知的障がい児(者)親の会	6人	会議開催等への協力支援	0円

遺族会	101人	総会、護国神社（みたま祭・例大祭）、研修旅行、県戦没者追悼式への協力支援（コロナ禍により中止もあり）	94,000円
-----	------	--	---------

I. 社会福祉事業 ii. 介護保険事業拠点区分

1. 介護保険事業サービス区分

1.) 居宅介護サービス

(1) 事業概要

ホームヘルパーが障がいのある方の居宅に訪問し、入浴、排泄及び食事等の介護、調理、洗濯、掃除等の家事を行う、障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス。

(2) 事業結果

障がい者 訪問介護集計表

年度	人数	訪問回数	利用時間	居宅介護給付費
平成30年度	8人	699回	771.0h	1,431,952円
令和元年度	9人	898回	960.5h	1,802,564円
令和2年度	8人	956回	1030.5h	1,931,110円

2.) 訪問介護事業

(1) 事業概要

ホームヘルパーが利用者の居宅に訪問し、入浴、排泄及び食事等の介護、調理、洗濯、掃除等の家事を行う、介護保険法に基づくサービス。

(2) 事業結果

訪問介護集計表

年度	人数	介護総時間	身体介護	生活援助	身体生活	報酬総額
平成30年度	376人	5,122.75h	549.50h	3,320.00h	1,253.25h	15,558,998円
令和元年度	365人	5,216.25h	381.00h	2,837.00h	1,998.25h	15,678,802円
令和2年度	374人	3,912.25h	483.00h	2,324.50h	1,104.75h	12,082,391円

介護予防・日常生活支援総合事業集計表

年度	人数	訪問時間	報酬総額
平成30年度	231人	1,268.00h	4,217,891円
令和元年度	253人	1,565.25h	5,151,632円
令和2年度	244人	1,521.00h	5,016,488円

3.) 吉岡町移動支援事業

(1) 事業概要

ホームヘルパーが居宅に訪問し、屋外での移動に困難がある障がい者に対して、外出のための支援を行う、吉岡町が実施主体の事業。

(2) 事業結果

移動支援事業集計表

年度	人数	訪問時間	町負担額
令和元年度	1人	25h	115,000円
令和2年度	1人	26h	119,600円

【感想・反省】

- ・訪問介護報酬の減収は、数年前から利用者の減少や訪問時間の減少により減収傾向であったが、令和2年度はコロナ禍での利用控え等による訪問時間数減少の影響が顕著であった。
- ・今後の対策として訪問介護報酬の収益の増額が急務だが新型コロナウイルス感染症の影響や、訪問介護員の不足もあり大幅な収益増額は現時点では厳しい。しかし、訪問時間数が増加すればコロナ禍以前の収入に戻ることはできる。引き続き営業努力を行い利用者数を増やし、ヘルパーの人材確保と質の向上に努め、良質なサービスの提供に努めたい。

	元年度	2年度
前期末資金残高	267,848円	898,393円
事業活動による収入	22,749,398円	19,149,589円
積立資産取崩収入	0円	520,000円
補助金収入	0円	300,000円
総事業費	22,118,853円	20,638,379円

II. 公益事業 i. 生活困窮者自立相談支援事業拠点区分

1. 生活困窮者自立相談支援事業サービス区分

(1) 事業概要

平成28年、県社協からの委託事業として、県内8町村社協に相談支援員が配置された。

生活保護に至る前の段階の自立支援策の強化を図るため、生活困窮者に対し、自立相談支援事業の実施やその他の支援を実施した。また、新型コロナウイルス感染症の発生による休業等に伴う収入の減少により、住居確保給付金の制度利用の相談・申請窓口となった。

(2) 事業結果

年度	電話相談	面談	訪問同行支援	他機関と会議	電話照会	その他
平成30年度	59件	60回	19件	13回	193件	1件
令和元年度	95件	58回	31件	10回	154件	13件
令和2年度	223件	182回	9件	0回	209件	13件

◎住居確保給付金申請

- ・相談対応件数 471件
- ・給付申請者数 24件
- ・給付金額 4,250,400円（延長・再延長・再々延長含む）

住居確保給付金は、離職・廃業から2年以内の方が対象であったが、令和2年4月20日以降支給の対象を拡大し、休業等により収入が減少し、住居を失うおそれがある方も申請できるようになりました。申請者24人中 離職の方は8人、休業等による減収の方は16人であったため早期に国が一部改正を行ったため、生活困窮者の支援につながった。

対象者に対し、面談にて求職活動や増収につながるよう助言を行って来たが、ほとんどの方が収入安定につながらず、延長・再延長・再々延長の最大12ヶ月支給を受ける状況であった。

住居確保給付金は、貸付ではないため返済する必要がないので、申請を希望する方にはなるべく申請していただいたが制度上、世帯全体の収入要件があるため、希望に添えない対象者もいた。

	元年度	2年度
県社協受託金収入	4,468,000円	6,132,375円
事業費	4,468,000円	6,132,375円

II. 公益事業 ii. 地域包括支援センター事業拠点区分

1. 地域包括支援センター事業サービス区分

(1) 事業概要

高齢者の心身の健康の維持及び生活の安定の為の必要な支援を行うことにより、保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的とし、町から委託され設置している。医療・福祉の専門職がチームで業務を行っている。

(2) 事業結果 ※ ()は、前年度実績

①総合相談支援業務

- ・新規相談件数 150件 (129件)
- ・総合相談延件数 3,470件 (2,976件)
- ・実態把握訪問件数 57件

他のすべての業務の入り口であり、包括センター事業実施のための基盤的役割を果たすものである。また、実態把握とは、支援が必要な人を発見するとともに地域ごとの課題やニーズを把握することである。今年度は、コロナ禍のため、カフェやサロンなどの集まる場の減少などで生活変化による閉じこもり等が心配な方に対して、吉岡町作成「コロナ予防体操」のチラシを配布するなど、実態把握訪問を含めた訪問件数は昨年度より増加した。

②権利擁護業務

- ・高齢者虐待相談件数 8件 (6件)
- ・成年後見相談件数 16件 (8件)
- ・消費者被害相談件数 2件 (1件)

人権・権利擁護を目的として積極的介入支援をおこない、自己決定に基づく契約が十分にできない人の権利をまもることである。今年度は成年後見相談件数が増加。また、コロナ禍のために家族の負担が増えて虐待リスクを高める状態が懸念されたが、虐待と判断されたケースは1件であった。

③包括的・継続的ケアマネジメント業務

- ・ケアマネ支援件数 103件 (103件)
- ・ケアマネ情報交換会 1回 (3回)
- ・地域ケア会議(個別) 3件 (6件)
- ・自立支援型個別地域ケア会議 2件

介護保険制度の理念である自立支援・利用者本人本位・法令遵守し、介護支援計画書作成に必要な知識と技術を向上させ、生活課題を有する方々が必要な社会資源と結びつくよう関係機関と連携しやすくする。今年度はコロナ禍のため、会議開催や研修会等への参加は前年度より減少したが、地域包括ケアシステムを実現する手段として、今年度から町主催で自立支援型個別地域ケア会議を2回実施した。

④在宅医療介護連携推進事業

- ・渋川地区在宅医療介護連携支援センター会議 14回 (15回)
- ・渋川地区在宅医療介護連携支援センター講演会等協力 7回 (10回)

渋川地区在宅医療介護連携支援センターと協同し、渋川地区(渋川市・榛東村・吉岡町)の医療と介護連携に努め、地域包括ケアシステムの構築を目指す。月1回の調整会議に参加し、情報を共有し、講演会等の開催協力や周知活動を行っている。

⑤認知症総合支援事業

- ・認知症初期集中支援チーム支援件数 5件 (3件)

認知症初期集中支援チームでは、認知症で困っている方個人に対し支援を行い、認知症地域支援推進員は、認知症カフェの運営協力や認知症ケアパスの作成等、認知症になっても住みやすい地域を作る支援を行っている。

⑥介護予防支援業務

- ・要支援者延人数 2,074人 (2,088人)
- ・プラン作成延件数 881件 (1,038件)
- (内、委託件数) 324件 (413件)

要支援1・2の認定を受けた方が、自宅で介護予防のためのサービスを適切に利用できるようなケアプランの作成やサービス事業所との連絡・調整等を行う。今年度は、新型コロナウイルス感染予防による自粛もあってか、プラン作成延件数・委託件数共に昨年度より減少した。

	元年度	2年度
町受託金収入	21,975,118円	23,645,144円
介護報酬収入	4,605,320円	3,931,520円
補助金収入	0円	145,000円
雑収入	66,040円	0円
事業費	26,646,478円	27,721,664円

⑦地域支援事業(介護予防ケアマネジメント)

- ・プラン等作成件数 551件 (519件)
- (内、事業対象者) 116件 (76件)
- (内、委託延作成件数) 121件 (132件)

「総合事業」における「介護予防・生活支援サービス事業」の中に位置づけられており、要支援者の状況にあった適切なサービスが包括的かつ効率的に提供されるよう必要なケアをマネジメントする。プラン作成件数の内、事業対象者は前年度より増加した。

	元年度	2年度
町受託金収入	3,525,786円	3,379,192円
介護報酬収入	2,298,480円	2,541,080円
事業費	5,824,266円	5,920,272円

会計の区分一覧（経理規程第7条第4項）

当法人が設定する事業区分、拠点区分、サービス区分は下記のとおりとする。

事業区分 (大分類)	拠点区分 (中分類)	サービス区分 (小分類)
I. 社会福祉事業 P1～P15	i. 地域福祉事業拠点 P1～P13	1. 法人運営事業サービス区分 P1～P2
		2. 地域福祉事業サービス区分 P2～P7
		3. 共同募金配分金事業サービス区分 P7～P9
		4. 受託事業サービス区分 P9～P11
		5. 善意銀行貸付事業サービス区分 P11
		6. 退職手当積立金事業サービス区分 P11
		7. 老人福祉センター指定管理事業サービス区分 P12
		8. 学童クラブ管理事業サービス区分 P13
	ii. 介護保険事業拠点 P15	1. 介護保険事業サービス区分 P15
	II. 公益事業 P16～P17	i. 生活困窮者自立相談 支援事業拠点 P16
ii. 地域包括支援センター事 業拠点 P16～P17		1. 地域包括支援センター事業サービス区分 P16～P17
その他の事業 P14～P15		9. 群馬県共同募金会・吉岡町支会業務 P14
		10. 吉岡町民生委員児童委員協議会 P14
		11. 各種福祉団体支援 P14～P15